



---

公益社団法人 日本理学療法士協会 主催

# がんの リハビリテーション研修会

がん患者リハビリテーション料算定に係る研修事業

---

## がんのリハビリテーション研修会

がんは、死亡者数の約 1/3 を占め、1981 年から死亡原因の第 1 位となっています。厚生労働省はがん対策を最重要課題とし様々な取り組みを行い、がんによる死亡率は減少傾向にあります。高年齢者に多く発生するがんは日本の平均寿命、高齢化率の増大とともにその後も増加する一方です。リハビリテーションではチーム医療が重要であります。がんは様々な臓器に発生し、がんやがんの治療に伴う障害が引き起こす障害も多様であることから、特に多職種によるチーム医療が重要であると考えられています。

がんのリハビリテーションにおける研修会は、一般財団法人ライフ・プランニング・センターが行ってまいりましたが、この度日本理学療法士協会でもがん患者リハビリテーション料算定に係る研修会を開催することになりました（平成 26 年 3 月 31 日付け厚生労働省擬似解釈参照）。

本研修会は、以下の骨子にて実施予定です。

- 1) カリキュラム：既存のカリキュラムに即した内容で開催（資料 1）  
現場において医療者に求められる基本的な知識を取り上げると同時に、チーム内での情報交換から、身体の状態把握、分析、介入、家族などへのケアの提案ができるなど、知識と技術の習得をすることを目指しています。
- 2) 受講要件：今までの研修会では 4 名までの参加制限がありましたが、本会主催研修会では、算定可能な人員を確保いただくため、**最大 6 名まで参加可能**としています。  
\* 診療報酬では医師、看護師、理学療法士等がそれぞれ 1 名以上参加して行われるものをさします。
- 3) 受講費用：1 施設 4 名で 86,400 円（21,600 円/1 名追加）  
\* 5 名 108,000 円、6 名 129,600 円になります（税込み）。

多数の皆様のご応募をお待ちしております。

※本研修会は、「がん患者リハビリテーション料」を算定する要件を満たす研修会です

## 研修会および応募概要

### 1) 応募要件

- ・施設単位でのお申込み
- ・同一施設からの参加（原則として1チームのみ申請可能）
- ・各施設1チーム4名以上、最大6名まで（医師と看護師が各1名、理学療法士、作業療法士言語聴覚士の中から2名以上がチームとして参加）
- ・算定可能な職員を施設内で増やしていただく観点から、6名での参加が望ましい。
- ・受講者全員研修全カリキュラムに参加が必須

### 2) 開催日・会場・定員と応募締め切り日

開催日	開催	会場名	定員	応募締め切り日
4月26日(土)、27日(日)	東京都	田町カンファレンスルーム	60名	先着順で締め切り
5月17日(土)、18日(日)	山口県	調整中	100名	先着順で締め切り
5月24日(土)、25日(日)	神奈川県	横浜リハビリテーション専門学校	150名	先着順で締め切り
6月14日(土)、15日(日)	秋田県	秋田大学医学部 医学系研究棟	100名	5月30日(金)
6月21日(土)、22日(日)	長崎県	道ノ尾病院 みちのおホール	100名	5月30日(金)
6月28日(土)、29日(日)	兵庫県	調整中	100名	5月30日(金)
7月5日(土)、6日(日)	栃木県	自治医科大学 記念棟12階会議室	100名	5月30日(金)
7月19日(土)、20日(日)	東京都	田町カンファレンスルーム	60名	5月30日(金)
8月23日(土)、24日(日)	福岡県	福岡国際医療福祉学院	100名	5月30日(金)
9月6日(土)、7日(日)	東京都	戸山サンライズ	100名	5月30日(金)
10月11日(土)、12日(日)	徳島県	徳島文理大学	100名	5月30日(金)
11月29日(土)、30日(日)	大阪府	調整中	100名	5月30日(金)
12月20日(土)、21日(日)	東京都	戸山サンライズ	100名	5月30日(金)

※情報は更新されます。詳細は日本理学療法士協会のホームページをご確認ください。

### 3) 応募方法

- ・本会ホームページの、「その他（協会主催）」から詳細をご確認のうえ、申請用紙をダウンロードしてお申込ください。
- ・受講可否について、参加承認メールが代表者へ送られます。研修初日にお持ちください。
- ・原則として受講申込後のキャンセルはできませんのでご了承ください。

URL : [http://www.japanpt.or.jp/lifelonglearning/seminer\\_open\\_list/](http://www.japanpt.or.jp/lifelonglearning/seminer_open_list/)

e-mail : 日本理学療法士協会\_研修会担当 kyouiku3 (a) japanpt.or.jp

※本会は収集した個人情報を規程に基づいて適切に管理し、不必要になった場合は、適切に廃棄いたします。

4) 受講費（税込み）について： 1施設4名で86,400円（1名追加ごと21,600円）

5) 付与されるポイントと修了書の交付

全ての研修を修了された受講者へ、修了証を交付します。研修2日目の最後にお渡しします。また公益社団法人日本理学療法士協会会員には、各分野で利用可能な専門・認定理学療法制度のポイントを付与する予定です（20ポイント）。

7) 研修カリキュラム（2日間14時間）（資料1）

8) 留意事項

- 1 研修修了後、フォローアップ調査などをアンケート形式で実施する可能性があります。その際は回答にご協力願います。
- 2 研修修了後、事例報告をお願いする事があります。その際は回答にご協力願います。

#### 本研修に関するお問合せ先

公益社団法人 日本理学療法士協会

事務局生涯学習課 がんのリハビリテーション研修会 係

メールアドレス : [gan-reha \(a\) japanpt.or.jp](mailto:gan-reha(a)japanpt.or.jp) 電話番号 : 03-6804-1440

※お電話の場合、混雑する可能性があります。可能な限りメールにてお問い合わせをお願いします。

# 資料 1

## プログラムイメージ

注) 実際には2日間14時間のカリキュラムになります。また、各会場により順番などが異なる場合がございます。

日付	コース	時刻	時間	セッション名	備考
1 日 目	全体	09:00-09:10	10	開会挨拶・ワークショップの全体説明	
		09:10-09:20	10	KJ法の説明	
			10	移動	
	各教室 2施設1グループ	09:30-11:00	90	アイスブレイキング 「がんのリハビリテーション」の問題点	がんのリハビリを実践する上での問題点(施設の体制、知識や技術の問題、マンパワーの問題などを含め)について、研修参加者がグループに分かれて、ワークショップ形式で討論・協同作業を行い、理解を深める。
			10	休憩	
	全体	11:10-11:50	40	がんのリハビリテーションの概要	がんのリハビリの対象となる疾患や障害、リスク管理、がん医療の臨床現場におけるリハビリスタッフの役割や多職種チーム医療の中での実際の取り組みについて理解を深める
			50	昼食	
	全体	12:40-13:30	50	周術期リハビリテーション 患者評価のポイントとリハビリテーションの実際	開胸・開腹術や乳がん、骨軟部腫瘍などの外科的治療の過程によって生じる、さまざまな障害に対するリハビリテーションを行う際に必要な評価および訓練のポイントを理解する。
			10	休憩	
	全体	13:40-14:40	60	化学療法・放射線療法の副作用とリスク管理 骨転移患者への対応 患者評価のポイントとリハビリテーションの実際	化学療法・放射線療法を行っている患者は活動量が低下しがちであり、廃用症候群を予防・改善するためのリハビリテーションが必要とされる。このセッションでは化学療法・放射線療法の副作用とリスク管理、骨転移患者への対応、実際の訓練におけるリハビリテーションアプローチのポイントを学びながら参加者間でディスカッションする。
			10	休憩	
	全体	15:00-16:00	60	歩行障害・基本動作障害・ADL、IADL障害に対する対応	がん患者の日常生活動作(ADL)・日常生活関連動作(IADL)の特徴、およびおもにベッド再度で自律・自立を促すために工夫できる点などについて理解する。また、筋力・体力低下の予防方法と離床支援の方法を習得する。
			10	休憩	
	全体	16:10-17:10	60	がん患者の摂食・嚥下障害・コミュニケーション障害 口腔ケア	摂食・嚥下障害ではベッドサイドでの評価のポイント・訓練法・代償法・間欠的経管栄養法の管理について、コミュニケーション障害では喉頭摘出後の代用音声、舌癌術後の器質的構音障害への訓練法・補綴療法、さらに失語症などへのアプローチ方法を理解する。口腔ケアの必要性やアプローチ方法を理解する。
			10	移動	
	全体	17:10-17:20	10	がん患者に対するリハビリ設定の考え方	通常診療科のCCによる治療方針(術式や投薬など)とは異なるリハビリテーションカンファレンスの「ゴール設定」「目標設定(共有)」「各職種の役割」などのCC形式について講義・デモによる受講生へのプレゼンテーションを行う。
10			移動		
各教室 2施設1グループ	17:30-18:40	70	ミニカンファレンス:事例に基づいて (方針・目標設定の過程)	「ゴール設定」「目標」「期間」「各職種の役割」などの「擬態的な介入方法を除く」ところまでを、リハビリテーションカンファレンスの形式で検討する。	
2 日 目	全体	9:00-10:00	60	進行がん患者に対するリハビリテーション・アプローチ	がんはステージ病といわれ、早期、進行期、末期という病勢の病勢に伴い、対応方法も異なる。ここでは進行期を取り上げ、局所から全身へという治療展開、がんの集学的治療における有害事象、体力低下と廃用症候群、などの臨床課題を取り上げ、その時点リハビリテーションのポイントについて検討する。
		10:00-10:10	10	休憩	
	全体	10:10-11:10	60	心のケアとリハビリテーション	がん患者におけるリハビリテーションと心の問題について理解を深めることを目的とする。まず、留意するべきあるいは知っておくべき心の問題や、リハビリテーションと心理面との関わりについて概説する。その後、リハビリテーションを行う際に困難を感じる心の問題について、質疑応答形式でのディスカッションを行う。
			10	休憩	
	全体	11:20-12:10	50	問題にどう対応するか 2事例の提示	がんのリハビリを行う中で、時に対応に難渋する症例がある。患者のニーズや葛藤、精神的・身体的痛みをどう受け止め、チームとしてどのように支援していくかが求められている。このセッションでは、症例を通じて、情報収集の仕方、リスク管理、告知の難しさや重要性、チーム医療のあり方などを議論する。
			20	がんのリハビリテーションにおける看護師の役割	
			30	昼食	
	希望者のみ参加 (希望者以外は 昼休み)	13:00-13:30	30	職種別交流会(医師)	希望者のみ参加 各職種別に分かれて、がんリハビリの臨床・研究・教育上の様々な話題について、意見交換を行う。 担当講師は司会進行、ファシリテーターの役割を担う。 とくにシナリオは設定しない。自由に討論できる雰囲気づくりを。 参加者が決定したら、事前に質問や意見を寄せてもらうのも良いかもしれない。
			30	職種別交流会(看護師)	
			30	職種別交流会(PT)	
30			職種別交流会(OT)		
30			職種別交流会(ST)		
		10	移動		
各教室 各施設	13:40-15:20	100	「がんのリハビリテーション」の問題点の解決	1日目に抽出した「がんのリハビリテーション」を進めていくにあたっての問題点を元に、参加者それぞれの施設や地域における課題と目標を明確にし、それを実現するための方法を討議する。	
全体	15:20-15:30	10	閉会挨拶、全体の質疑応答	2日目の研修で生じた疑問点を解決する。	